

2010年3月期第3四半期決算報告



株主の皆さまへ



平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2010年3月期第3四半期累計期間(対象期間:2009年4月~12月)の当社グループの事業環境は、半導体業界において好転が見られましたものの、全体としては引き続き設備投資は抑制され、厳しい状況が続きました。以上のことから、当社グループの売上高は1,131億円と前年同期に比べ614億円の大幅な減少となりました。利益面に関しましては、売上の減少およびたな卸資産評価損の増加の影響から、167億円の営業損失となりました。

直近の事業環境に関しましては、パソコンやスマートフォン、液晶テレビなどの需要増加により、半導体・液晶パネルメーカーにおいて設備投資再開の動きが見られるなど、当社の受注環境も改善してまいりました。これを受けまして、2010年3月期通期連結業績予想を上方修正いたしました(別ページ参照)。

今後の見通しにつきましては明るい兆しが見えつつありますが、製品販売価格の下落や円高傾向で推移する為替などが、依然厳しい状況が続くものと予想されます。当社としましては、来期の黒字化が確実なものとなるよう、再建策の完遂に向けてもう一段の取り組みを行い、さらには、再建策終了後の当社のあり方について、中長期戦略の策定を行う所存です。

株主の皆さまにおかれましては、引き続き、ご支援のほどお願い申し上げます。

取締役社長 最高執行責任者(COO)

橋本 正博

株主の皆さまからのご質問にお答えします

Q: 合理化、経費節減、景気回復頼みではなく新時代を見据えた製品開発をしてほしい。

(70代以上、三重県、男性)

A 来期黒字化を目指した再建策を実施している当社ですが、将来性の期待できる製品については継続的な研究開発を行っています。その中で、今後の成長が期待できるフラッシュランプアニール装置をご紹介します。

●フラッシュランプアニール装置とは？



フラッシュランプ
アニール装置

当社の主力半導体製造装置は洗浄装置やコータ・デベロッパですが、今後の事業を支える新たな柱として期待されているのがフラッシュランプアニール装置です。世界的な金融危機以降、半導体関連業界が低迷するなかでも、最先端の半導体製造工場への納入実績

を伸ばし、今期売上は前期に比べて、3～4倍程度に増加すると予想しています。

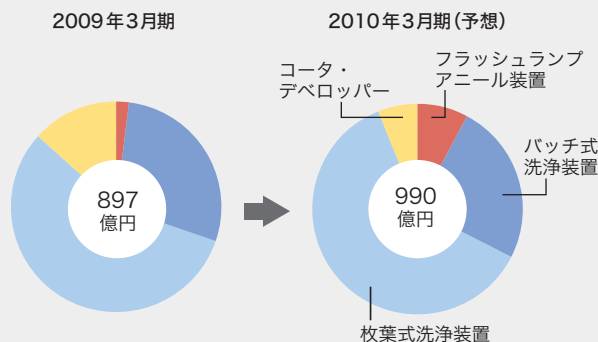
●どのような働きをするの？

導電性のないシリコンウエハーに不純物を注入した後、その不純物を活性化させ、電気を通すための熱処理工程を担います。カメラのフラッシュと同じ原理の光源を使い、100万分の数十秒で瞬間的にウエハーを高温に加熱します。

●なぜ今必要なの？

線幅65ナノメートル以降の半導体製造工程では、熱処理を行う際にウエハーに注入した不純物の分布がわずかに数ナノメートル広がっただけでも、性能に著しい悪影響を及ぼします。この装置は注入した不純物を最適に活性化するもので、半導体の微細化には欠かせないものなのです。

半導体製造装置群別売上比率(グラフ内の数字は連結売上高)



TOPICS 1

TSMC社から「Best Delivery Support Award」を受賞

当社は、世界最大の半導体ファブリーであるTSMC社(本社:台湾)へ数多くの半導体洗浄装置を納入し、同社の生産性向上に大きく貢献しています。今回の「Best Delivery Support Award」受賞は、装置の納品から安定稼働まで、同社をあらゆる面でサポートする当社の総合的なサービス体制が高く評価されたものです。今後もお客さまと強固な関係を築き、世界規模での販売・サービスの積極的な展開を図り、さらなるシェアの拡大を目指します。

TOPICS 2

環境経営度調査で125位にランキング

日本経済新聞社が2009年12月に発表した第13回「環境経営度調査」結果において、当社は製造業部門の125位にランキングされました。2009年度から運用を開始した「統合環境マネジメントシステム(EMS)」に基づく全社横断的な環境活動や、CO₂排出量削減の中長期目標(社内目標)の明文化などが評価され、前回(2008年は230位)に比べて大幅に順位が上昇しました。さらなるランクアップを目指し、グループ全体で環境経営を強化していきます。

主要セグメント別業績 (第3四半期累計期間:2009年4月~12月)

▶ 電子工業用機器

売上高	854 億円
営業利益	△ 142 億円

▶ 画像情報処理機器

売上高	272 億円
営業利益	△ 22 億円

用語解説

枚葉式洗浄装置: ウエハーを1枚ずつ洗浄処理する装置。

バッチ式洗浄装置: 複数のウエハーを一括で洗浄処理する装置。

コータ・デベロッパ: 半導体の場合はシリコンウエハーに、液晶パネルの場合はガラス基板にフォトレジスト(感光液)の塗布や現像処理を行う装置。

CTP: Computer to Plateの略。印刷するデータをコンピューターから直接プレートに出力し、印刷版を作成する装置。

POD: Print on Demandの略。必要なときに必要な部数を印刷すること。

インクジェット: インクの微細な粒子を吹き付けて印刷する方式。

スマートフォン: 音声通話以外に、インターネットの閲覧や電子メールの送受信、スケジュール管理などといったパソコンの機能も併せ持った高機能携帯電話のこと。

ファンドリー: 半導体の受託生産を行う企業のこと。

半導体製造装置: 695億円

半導体メーカーにおける設備投資抑制の影響を受け、前年同期に比べ売上が減少しました。製品別では、枚葉式洗浄装置および半導体の微細化に対応するフラッシュランプアニール(熱処理装置)は売上を伸ばしましたが、バッチ式洗浄装置およびコータ・デベロッパは大幅に減少しました。

FPD(フラットパネルディスプレイ)製造装置: 132億円

液晶パネルメーカーの設備投資が抑制され、売上は前年同期に比べ大幅に減少しました。

その他の電子工業用機器および部品: 26億円

プリント配線板メーカーの設備投資が低調に推移し、前年同期に比べ減少しました。

売上の大幅な減少に加え、半導体製造装置関連のたな卸資産評価損が増加したことから、営業損失を計上しました。半導体製造装置に関しては、2009年10月~12月の3ヵ月で黒字化を果たしました。

日本、欧州、北米においてCTP関連製品の売上が前年同期に比べ大幅に減少するとともに、POD製品や大型インクジェットプリンターの売上も低調に推移したことから、売上は前年同期に比べ減少し、営業損失を計上しました。

■今後の見通し

パソコンやスマートフォン、液晶テレビなどの需要増加を受けて、ファンドリーを中心に半導体デバイス微細化のための設備投資が活発化してきています。これを受け、主に半導体製造装置の売上・利益が前回予想より改善する見込みであることから、当社グループの業績予想を上方修正しました。

TOPICS 3

当社のインクジェットプリンターが渋谷の屋外広告で活躍

パナソニック(株)が今年2月に展開した家電製品のプロモーション『「NIGHT COLORシリーズ」夜の渋谷ジャック』において、当社の大型UVインクジェットプリンター「Truepress Jet2500UV」が大サイズポスターの印刷機として使用されました。さまざまな用紙やアクリル、金属などの多様な基材への印刷が可能で、高い印刷品質と優れた耐候性を持つことなどが、同社のマーケティング担当の方や広告代理店の方々に高く評価されました。



JR渋谷駅構内に貼られたポスター

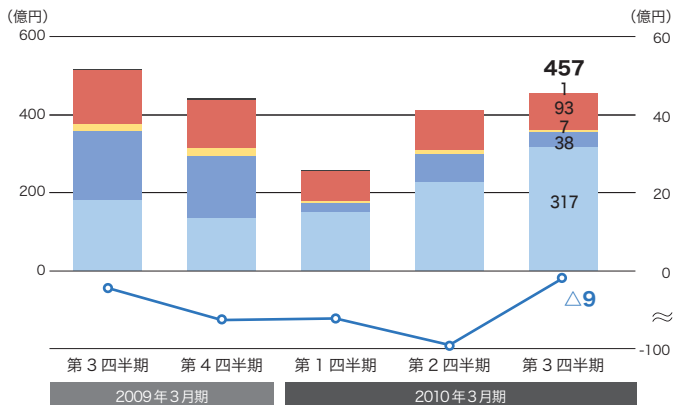
➡ 2010年3月期連結経営成績

(単位：億円未満切捨)

	第3四半期 2009年10月1日から 2009年12月31日まで	前年 同期比	第3四半期 累計期間 2009年4月1日から 2009年12月31日まで	前年 同期比
売上高	457	△11.6%	1,131	△35.2%
営業利益	△9	—	△167	—
経常利益	△13	—	△190	—
四半期純利益	5	—	△122	—

➡ 売上高・営業利益

■ 半導体製造装置 ■ FPD製造装置 ■ その他の電子工業用機器および部品
■ 画像情報処理機器 ■ その他 ○ 営業利益 [右目盛]



➡ 2010年3月期連結業績予想

(単位：億円未満切捨)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
通期	1,610	△165	△195	△105

配当につきましては、業績予想を踏まえ、誠に遺憾ではございますが、無配を予定しております。

(注) 財務数値の金額は、表示単位未満を切り捨てて表記しております。

「2009年インターネットIR・優良企業賞」を受賞

当社のウェブサイト「IR情報」が、大和インベスター・リレーションズ(株)主催の「2009年インターネットIR・優良企業賞」(58社)に選出されました。また、日興アイ・アール(株)主催の「2009年度全上場企業ホームページ充実度ランキング」においては、総合ランキングで「最優秀サイト」(146社)に選ばれました。今後も適時適切な情報開示に努めるとともに、ホームページ全体の充実を図ってまいりますので、ぜひご利用ください。

「IR情報」トップページ

<http://www.screen.co.jp/ir/>

IRメール配信サービスのご登録

<http://www.screen.co.jp/ir/mail/>



株価および出来高の推移



大日本スクリーン製造株式会社

〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上る4丁目天神北町1-1 電話075(414)7111

ホームページアドレス：<http://www.screen.co.jp/> 証券コード7735

SCREEN NOW Vol.74 発行日：2010年3月11日(発行は3月、6月、9月、12月) 発行：広報・IR室
「SCREEN NOW」(株主通信)は、当社のフォント「ヒラギノ書体」を使用しております。

